

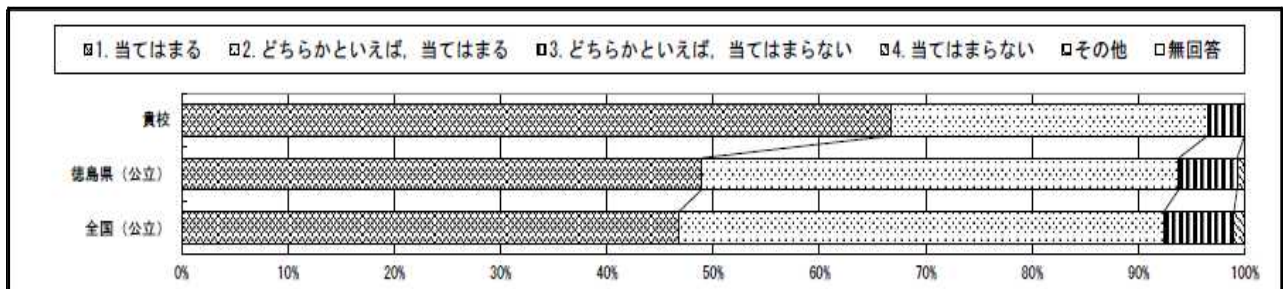
校長だより

11月号 北島南小学校 令和元年11月1日

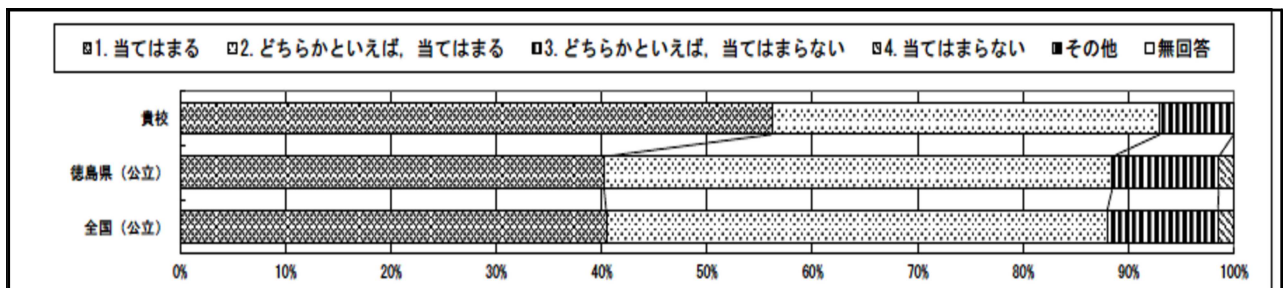
今月号は「心の教育」です。先月号でも「PBS」について説明しましたが、本校では心の教育にも力を入れています。そこで、その取組についてご紹介します。

まず、6年生が行った全国学力学習状況調査のアンケートの結果をご覧ください。グラフの見方ですが、一番上の貴校が本校で、中段が徳島県、一番下が全国になります。

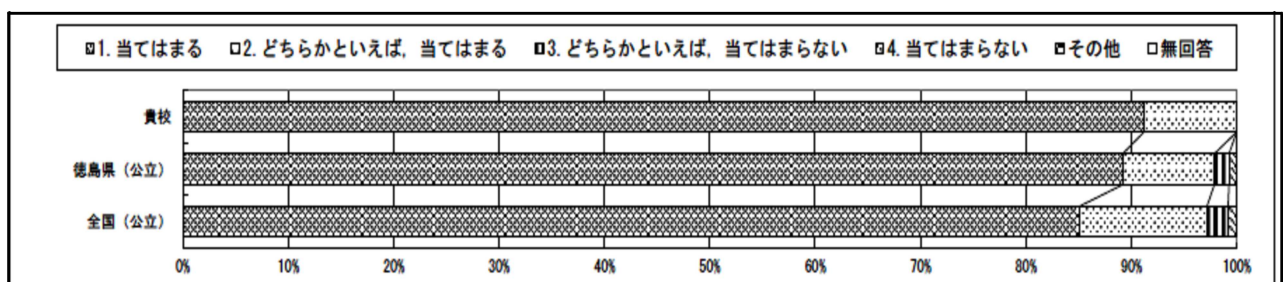
○学校のきまりを守っていますか。



○人が困っているときは、進んで助けていますか。



○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



上の3つのアンケートの結果からも、ルールを守っている、思いやりのある行動をしている、いじめを許さない心をもっている、といった本校の児童の実態が分かります。この結果は今年度だけでなく、昨年度までもこういった傾向がみられました。このような実態の背景には、学校での取組が関係しているといえます。

ルールやきまりを守れる子供を育てるために、本校ではここ数年、「元気いっぱいのあいさつをする」「廊下を正しく通る」「トイレのスリッパをそろえる」の3つの生活目標を掲げて学校をあげて取り組んできました。特に今年度は、P B Sで重点的に行っています。これらの行動について、子供たちが頑張っていれば、褒めて承認していき、自己有能感も育てていきたいと考えています。

思いやりの心を育てるために、幼児との交流活動を全学年で行っています。先日も3年生と4年生が理科の学習で学んだことを生かして交流活動を行いました。1年生も一緒にジャガイモの栽培をしたり、遠足ではなかよしペアが手をつないで中央公園まで行き秋探しをしたりしました。



幼稚園児・1年生の遠足

いじめのアンケートも年間8回実施しています。1学期3回、2学期3回、3学期2回とほぼ毎月実施しています。このように頻繁に行っている理由は、児童の実態把握と同時に、子供自身がいじめに対して常に意識できるようにするためです。アンケートに記されたことには教職員がチームとして素早く対応しており、そのことがいじめを許さない心を育てているといえます。

本校では道徳教育に力を入れており、校内研修でも道徳科の研究授業を各学年で実施しています。11月12日(火)には文部科学省より教科調査官が訪問し、第4学年の道徳科の授業を参観していただくことになっています。当日は、「ブロックの恐竜」という本校の教員が自作した教材を用いて、幼小連携の交流活動と関連させながら「親切」について学習する予定です。



道徳科の研究授業

先日、人権集会を行いました。各学級の代表が人権標語を発表し、仲間のすばらしさや大切さについて発表しました。また、各学年の出し物では、友達、障害者、高齢者、外国人、人種問題、差別問題などについて、道徳科や総合的な学習の時間に学習したことを表現しました。今回の集会を通して、子供たち一人一人が人権を尊重していこうとする思いを強くすることができました。



人権集会の標語発表

「豊かな心」を子供たちに身に付けるためには、教科等の学習、学校行事などの様々な体験活動、日頃の学級での生活などあらゆる機会において、教職員が児童一人一人に目を配り適切な支援や指導を行う必要があります。これからも、児童に寄り添いながら、教職員が一丸となって心の教育を展開していきたいと思えます。